

災害対応研修(受援体制)からの学び

兵庫県立尼崎総合医療センター 里深 成基

兵庫県看護協会で開催された災害対応研修(受援体制)に参加させていただきました。この研修は災害時の受援体制の必要性やそのための知識を深め、自施設の取り組みに繋げよう、という目的の研修でした。

今回、時系列に出来事(情報)をまとめていく「クロノロジー」を初めて実際に記載してみました。災害時において情報の管理は特に重要となりますが、短時間分の情報を記録するだけでも、抜けなく記載できているのかすごく不安になりました。実際の災害時は集中力を絶やさず、そして飛び交う情報を漏らさずに聞き取り、しかも長時間に渡り記載し続ける必要があります。人が話すことを文面にすることは普通の業務ではあまりないため、日頃から意識的に訓練していく必要があると感じ、身が引き締まる思いでした。また、病棟役と本部役に分かれ情報伝達のシミュレーションも実施しました。私は現在病棟に属しているため、災害時には病棟の状況を端的に本部に伝

達する必要があります。研修で病棟役と本部役の両方を経験したことで、本部が必要としている情報や、病棟が本部に伝えるべき内容を具体的にイメージすることができました。災害時は本部にも病棟にも短時間に多数の情報が飛び交うことが想定され、双方が正確に情報を把握し相手に伝えることがいつも以上に難しくなると、シミュレーションを通じ痛感しました。それらリアルな経験をしたことで、現場が混乱している時だからこそ、伝達の方法やタイミングなど災害時に求められるコミュニケーションのあり方を考える機会となりました。

今回参加した研修で災害支援ナースとして獲得すべき知識や技術の課題をより明確にすることができたので、これから日々の業務内でもスキルアップを目指して活動していきたいです。また、病棟内で定期的に災害時のシミュレーションを開催し、日頃から災害に備えた準備をしていきたいです。

投稿募集 採用者には図書カード1,000円分プレゼント! ¥1,000

[VOICE OF HYOGO NURSES]

趣味など日常で気づいたこと、感じたことをみんなにシェアしてみませんか。
原稿は600文字程度、写真付きでお送りください。

※所属施設名、氏名を添えて、広報委員会(koho@hna.or.jp)までお送りください。国会ホームページでも公開します。

[看護ひょうご表紙写真]

兵庫県内に咲く花や自然、風景などあなたのベストショットで表紙を飾りませんか。オリジナルの写真を電子データでお送りください。温かみのあるお写真をお待ちしています。



公益社団法人
兵庫県看護協会

会員数 29,852名

保健師 635名

助産師 968名

看護師 27,715名

准看護師 534名

(令和6年9月末時点)

会員募集

保健師、助産師、看護師、准看護師であればどなたでも入会でき、さまざまな特典があります。



会員特典はこちら



入会はこちら

編集後記

今号の対談では、能登半島地震に災害支援ナースとして派遣された3名の方にインタビューを行いました。被災地での活動や、現地で経験した学びを聞く事が出来た貴重な対談でした。是非ご覧ください。(田中)

広報委員会:井手口翔子、稲垣智也、小川かおり、田中雄大、三崎修子、山口匡拓、松下清美

特集

特別企画「災害支援ナースに聞く災害看護活動」

- 14 次年度入会手続き、会員特典
- 12 訪問看護総合支援センター・事業部
- 10 ナースセンターだより
- 8 教育認定部
- 2 令和6年度兵庫県看護大会

看護ひょうご

Hyogo
Nursing

2024
AUTUMN
令和6年秋号
vol.121



お友だち登録してね!

兵庫県立公園あわじ花さじきのコスモス(淡路市) 神戸市立医療センター西市民病院 高橋 千香



公益社団法人
兵庫県看護協会



兵庫県看護協会
公式LINEはこちら▶



兵庫県
かんごちゃん



NIPRO Institute for Medical Practice

研修情報はこちら▶



NIPRO 医療研修施設 iMEP

研修を通して、
医療に貢献。



令和6年度 兵庫県看護大会が開催されました



令和6年7月11日(木)、県公館にて兵庫県看護大会が開催されました。今年は、コロナ流行前のように、未来の看護を担う看護学生など242人の参加者が会場に集まり、にぎやかな大会となりました。

式典では、看護業務や保健指導の向上に、長年尽くされ功績のあった25名の看護職の皆様、齋藤元彦前兵庫県知事から看護功績賞が贈呈されました。昭和42年に制定された同賞は今年で58回目を迎え、受賞者は1,305人を数えるまでになりました。会場には受賞された皆様の功績をたたえる鳴りやまない拍手が響き渡りました。

受賞者の皆様おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます

兵庫県看護功績賞



井上 千秋 田中 薫

- 市川 研吾 井上 清美 大塚 景子 大西 小百合 尾島 直子 川部 博子 北岡 公美 小林 由香
 近藤 三枝子 坂本 佳代子 坂本 美春 迫田 貴子 柴田 美由紀 島末 喜美子 竹崎 裕子 舘林 奈緒美 平山 順子
 福井 あけみ 古川 公子 前田 仁代 兵庫県看護協会長 丸山 美津子 前兵庫県知事 齋藤 元彦 兵庫県保健医療部長 山下 輝夫 松本 奈美 村尾 恵美 吉村 美佐子

特別講演

「世界の被災地の人々とともに — 赤十字の国際救援活動を通じて —」

講師
日本赤十字社姫路
赤十字病院看護副部長
高原 美貴氏



今でも多くの国々で戦争や紛争が発生し、傷ついた人や街の姿が報道されています。こうした紛争や難民問題は、国際社会が協力して対応すべき地球規模の課題ですが、看護職である私たちも、人としての尊厳を保つ人道上の問題は見過ごせません。高原さんは1989年にスーダン紛争での救援活動に関わって以来、これまでに11か国で17回の国際救援活動を長きにわたり行ってこれ、昨年には第49回フローレンス・ナイチンゲール記章を受章されました。多くの紛争地での活動や難民支援などの

ご経験をもとに、医療資源が乏しい地域で、文化やコミュニティを大事にしながら、一人一人に寄り添い言葉をかけ、心身をケアする活動を、具体的なエピソードを通じ愛しそしてお話しされました。そして、人々が健康的に暮らし、自分たちで問題解決できるよう、公衆衛生的な視点で先を予測し生活環境に着目し、住民が力をつけていける働きかけなど、改めて看護の幅広い価値を感じ、看護の本質に触れる機会となりました。ご講演を聴き、同じような活動はできないかもしれませんが、一人一人が厳しい地域に

身を置いている人のことを思い、できることを実践すれば、人道支援にわずかも寄与できるのではと思いました。看護ひょうご令和5年夏号(vol.116)に、シリアでの活動についてご報告を寄せてくださっていますので、ぜひご覧ください。



高齢者叙勲 瑞宝双光章

元兵庫県阪神県民局参事兼県立厚生専門学院長

くさか やすこ
日下 安子様

2024年度神戸市市民福祉顕彰功労賞

前公益社団法人兵庫県看護協会会長

なりた やすこ
成田 康子様

コメント

このたびの受賞を大変光栄に思っております。この賞は、協会の皆様のお力添えがあってこそ頂けたものであり、私が代表してお受け取りさせていただいたものです。心より感謝申し上げます。

成田前会長より
協会あての寄付を
頂戴しております。
ありがとうございます!!



東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を仕事お手伝いをさせていただければ幸いです。

※オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策（検温、うがい手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等）を行っているからセミナーを実施しています。

【お役に立てる主な研修】

- 医療安全対策研修
- 高齢者の睡眠ケア
- 学校保健委員会

※他、施設内研修などご相談承ります
(事前にお打ち合わせをお願いする事も可能です)

◆セミナーに申し込ましては、二次発コードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
https://www.toyoumo.co.jp/seminar



TUK 東洋羽毛関西販売株式会社 神戸営業所
〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町3-1-14 ☎0120-360-420

令和6年能登半島地震における

災害看護活動

元旦から甚大な被害をもたらした能登半島地震被災地には、1月10日から災害支援ナース42人が、また厚生労働省の要請で保健師が派遣されました。

今回の特集では3人にご協力いただき現地での災害看護活動を語っていただきました。

災害支援
ナース派遣
初参加

馬場 真由美氏

県立加古川医療センター 看護師

派遣時期 1月12日(金)～14日(日)

派遣場所 穴水総合病院・穴水町保健センター



活動内容

DMATやJMATなど様々な役割と職種の方が集まる本部の中核となる統括本部で、JMAT兵庫として活動しました。当時30～40カ所の避難所があり、派遣された時は、どこで誰が統括するか、まだ混乱している状況でした。派遣経路などは医師や看護師、多職種で相談しながら決めました。統括本部の役割やシステムの事は研修で学んで知識が片隅にはあるものの、実際はなかなか追いつけず、統括自体の仕事は相当大変なことだと体感しました。



困ったこと

多職種で構成されるチームなので、様々な情報が各職種に入ってきました。薬剤師会や医師会、DMATなどから様々な情報が下りてきて、それを医師がまとめ、方針を決めていく流れでした。伝え方次第では、内容が微妙に変わってしまうこともあるため、チームワークを構築するにあたり、信頼関係の形成やコミュニケーションをとる事がすごく大変でした。

良かったこと・嬉しかったこと

情報共有ツールの活用やCSCAに沿った指示命令方法など、研修で学んだ事を実践することができました。実際に避難所に行くことはなかったですが、情報を共有し、地区一帯の避難所の状況が分かるという体験ができました。毎日状況が変わり、昨日このルートで本部まで行けたのに土砂崩れが起きて行けない、でも危険でも行かないと分からない情報もあるので、状況を把握して全ての避難所に伝えていくところを間近に見て、すごく勉強になりました。

次回の応援や自施設での受援体制に活かしたい事

派遣後の交流会・反省会でDMAT経験者や先遣隊として参加した方と交流し、情報収集の方法など様々なやり方を聞き、今後の災害派遣に向けて学びを深めています。医師会との検討会もあり、JMAT統括の訓練という課題も出たので、積極的に研修に参加しようと思います。

災害支援
活動
派遣経験
4回

田村 雅代氏

兵庫県豊岡健康福祉事務所 保健師

派遣時期 1月21日(日)～28日(日)

派遣場所 穴水町保健センター



活動内容

在宅の被災者のうち75歳以上の高齢者の方の家庭訪問を中心にを行いました。健康状態や常用薬の不足などを確認、要介護状態の方については、健康以外の生活面での困りごとを聴取したり、カイロや非常食、口腔ケアなど不足している物を配布したりしました。被災者の状況を地元の保健師に伝え、被災していない所のショートステイが使えるようマネジメントしてもらったこともあります。長年過ごした自宅に「危険」の張り紙が貼られ、避難を余儀なくされたことに精神的に落ち込み、避難所の人たちとの交流に消極的な高齢者にはDPATの訪問を受け、ゆっくり話されることを提案し、DPATへ繋がることもありました。

良かったこと・嬉しかったこと

活動場所や内容がわからない為不安がありましたが、県担当課によりこれまでの活動内容や写真が電子掲示板に掲載されていたことやオリエンテーションを受け、安心して被災地に向かえました。また、日々の報告と同時にアドバイスがあり、次の日からの活動の参考になりました。

困ったこと

引継ぎで活動の概要は理解しているものの、前チームから引継がれた仕事と自身の被災地での生活で精一杯になり、最初はあまり周りが見えず、また、多くの応援チームがきており、各支援チームの特色や活動内容などがはっきりと見えないことがあり、戸惑いもありました。

次回の応援や自施設での受援体制に活かしたい事

組織体制や被災地の課題など、全体像を把握することが大事と感じました。把握した上で住民の声や状況を見て、各応援チームや被災地保健師とその時々課題について考え、方向性を見出せたら良いと思います。また、災害時の保健活動ガイドラインと現在の活動を見比べ振り返ることも大切だと考えています。

被災者宅への訪問時の写真です。海沿いで天気も変わりやすく、雪が晴れたと思ったら吹雪みたいになるような、そんな日もありました。



災害支援
ナース派遣
初参加

井上 知香氏

県立がんセンター 看護師

派遣時期 1月27日(土)～30日(火)

派遣場所 恵寿総合病院



活動内容

病棟での看護が中心でした。普段より病床稼働が上がっており、看護スタッフも不足している状況だったので、他部署の看護師やリハビリスタッフなど、多職種と協力しながら、清潔ケアや食事介助などをしていました。

困ったこと

病院の勝手が分からないことです。物品の保管場所や業務の流れを前のグループから引継いでいたのですが、私たちの前のグループが大雪の影響で派遣がストップしたため、引継ぎがなく困りました。引継ぎの重要性を強く感じました。活動拠点の病院は、免震構造だったため、建物自体に大きな被害はないものの、天井から水が漏れ、病棟としての機能は失っていました。



良かったこと・嬉しかったこと

現地の看護師から震災当時の話を聞いたことです。「この経験を後世に伝えていかなくては」と強く感じました。また、平時の備えの重要性や、今後考えるべきことについて話を聞いたことが、良い学びになりました。

次回の応援や自施設での受援体制に活かしたい事

ライフラインが止まった時の対策について考えておく必要があると感じました。特に水が止まった場合は、ポータブルトイレを洗うことができないため、災害用の捨てられるトイレを活用するなど、工夫が必要です。現場では、洗い物の工夫、使い捨ての物が多用されていました。自分の病院でも普段から、ここでもし発災したらどうするのか予測しながら対応していくことが大事だと思います。今回学んだことや実践した内容をスタッフとも共有し、今後活かしたいと思います。また、普段から自分の知識や技術を維持し、どこに派遣されても対応できるよう視野を広く持つことが大切だと感じています。

看護職の皆さんへのメッセージ

馬場さん

救急医療に携わらない人にも災害看護の必要性や面白さ、やりがいを知ってほしいです。また、派遣を後押しする協力者や周囲の理解がとても大切です。私自身、家族から「行っておいで」と言葉をかけてもらえたから行けました。派遣後悩んだり、ストレスを感じたりした時は、交流会や医師会の検討会で同じような体験をされた方たちの話を聞き、すごく心が楽になりました。派遣後のフォロー体制も今後充実していくと思うので、ぜひ皆さんには災害看護に興味をもってもらいたいです。

井上さん

災害看護は、多くのことを学ぶことができます。災害時は、平時では当たり前に行えることができなくなるため、その状況で考える力を養うことが大切になります。災害看護を学ぶことは、多くのことを学び、経験できることに繋がると感じています。

田村さん

実際に被災地にて活動を行う事で自身の対応力やアセスメント力向上に繋がります。派遣後は、職場における平時の準備や発災時の対応について考えることに役立ちます。また、地元の方からは温かく迎え入れていただき、活動に対しては感謝の気持ちを伝えられることもあります。機会があれば、災害派遣を体験していただきたいです。

災害支援ナースの新たな仕組みは次のページ

令和6年
4月から

災害支援ナース派遣の 仕組みが新しく なりました

変更点

災害支援に加え、**新興感染症**の
まん延地域にも
派遣されます



POINT 養成研修カリキュラムに**感染症各論・演習**が追加

※令和4年度までの旧災害支援ナース養成研修を受講された方などは受講の一部免除あり。
養成研修修了者はリストに登録され、年1回の派遣調整訓練等へ参加できます。

DMAT等と同様に
**「災害・感染症
医療業務従事者」**に
位置づけられました



POINT 費用の**公的負担、傷害保険等の保障**が充実

災害支援ナースの
所属施設と兵庫県とが
派遣に関する協定を
締結します



POINT 原則、**所属施設の職員**として
参加します(業務扱い)

県内外の派遣要請を
**兵庫県が一元的に
集約**し、県看護協会を
通じて**病院等に派遣
要請**します



派遣要請ルートが明確化されたことで
迅速な派遣が可能に!

〈派遣期間〉

自然災害

発災より
3日以降1ヶ月以内
の期間で**3泊4日**

新興感染症

2週間程度

〈派遣実績〉

兵庫県災害支援ナースは各地で活躍しています

派遣時期	災害名	派遣先	派遣数
2009年8月	兵庫県西部・北部豪雨災害	佐用町	30人
2011年3月~10月	東日本大震災	宮城県石巻市他	159人
2016年4月~5月	熊本地震	熊本県益城町	28人
2018年7月	西日本豪雨災害	岡山県倉敷市	18人

eNurseTrainer
eナーストレーナー
NANDA-I講義動画収録!

約500本の技術動画と、充実の電子ブックコンテンツで、
看護技術のオンライン教育・研修にすぐに導入できる!



**無料トライアル
受付中!**
詳しくは「eナーストレーナー」
特設サイトをご覧ください

医学書院 [販売・PR部] [TEL] 03-3817-5650 [FAX] 03-3815-7804 [E-mail] sd@igaku-shoin.co.jp
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEB] https://www.igaku-shoin.co.jp

令和6年度 第1回施設代表者会・講演会を開催しました

8月1日(木)に熱中症警報アラームが毎日発信される猛暑の中の開催となりました。施設代表者会の後、公益財団法人兵庫県勤労福祉協会ひょうご仕事と生活センターコンサルタントの渥美 由喜氏をお招きし、「選ばれる病院になるために～看護補助者確保・定着促進～」と題しWeb講演会を開催しました。講師はイクメンの名づけ親で、自身の育児・介護の経験や多くの医療福祉法人・対面顧客サービス会社へのコンサルテーションの実績から、人材確保策で有効な職場アピールの方法、タスクシフト&シェアの実際から鍵となる考え方について具体的かつ実践可能な取り組みを紹介いただきました。



その中から一つ、職場を元気にする「さしすせそ」をご紹介します。

- さ** 裁量を与える、失敗OK
「やってみたら!」「〇〇さんに仕事を任せたら、△△という工夫をしてくれて…」
- し** 社会的意味・価値、信頼(信頼という言葉を使わずに)
「〇〇さんの仕事は正確でいつも助かっています」
- す** スキル・ストレンクス(社外で通用する強み、辞めても困らないような強み)
「〇〇さんの強みは◎◎で…」
- せ** (成長線)・成長を実感(具体的に!)、挑戦を後押し
□□という資格をとって、大きく成長して、これからは■にも挑戦して、
- そ** 尊重する、自分にはない美点・長所を探す
「他の人にはない△△という美点を〇〇さんは…」



理事会報告

令和6年度第3回理事会

開催日/令和6年7月6日(土)10:00~11:50 出席理事19名より、定足数を満たしていることを確認。出席監事3名

以下の協議事項が承認されました。

- 1)職員就業規則等の改正について
- 2)地域ケア事業部職員給与規程の改正について

令和6年度第4回理事会

開催日/令和6年8月1日(木)10:00~11:50 出席理事20名より、定足数を満たしていることを確認。出席監事2名

以下の協議事項が承認されました。

- 1)令和7年度本会代議員及び予備代議員選出人数について(案)
- 2)令和7年度兵庫県看護協会定時総会及び職能集会について
- 3)令和6年度委員会委員の選任について
- 4)会員特典について

今後の予定(10月16日~1月15日)

10月5日(土) 理事会	11月2日(土) 理事会
10月21日(月) 日本看護協会地区別法人会(兵庫県)	12月7日(土) 午前:理事会、午後:理事・支部・委員長合同会議・支部代表者会
10月22日(火) 日本看護協会地区別職能委員長会(兵庫県)	12月30日(月) 年末年始休暇のため休館いたします ~1月3日(金)

6月11日(水)~12日(木)	令和7年度日本看護協会通常総会・全国職能別交流会	会場:千葉県(幕張メッセ)
6月19日(木)	令和7年度兵庫県看護協会定時総会・職能集会	会場:兵庫県看護協会会館



教育認定部

報告 セカンドレベル研修の学び

令和6年度セカンドレベル研修が、7月1日から8月21日まで開催され、無事に終了しました。本研修では、中間管理職としての役割を担うために、地域連携の重要性を理解し、自組織とは異なる事業所の活動を学ぶことが目的の一つとしてあります。その一環として、54名の受講生が46の事業所で1日間の臨地実習を行いました。実習では、受講生たちは多様な事業所の現場に触れ、地域の医療や福祉における連携の実際を体験しました。受講生からは「他の事業所の取り組みを知ることで、地域全体で患者や利用者を支える体制の重要性を再認識できた」といった声が多く寄せられ、研修を通じた学びが大きな成果をもたらしたことが伺えます。今回、受講生からセカンドレベル研修での学びを振り返る投稿をいただいております。

セカンドレベル研修での学び 国立病院機構 姫路医療センター 看護師長 巖 恵子

7月1日より兵庫県看護協会にてセカンドレベル研修を受講しました。総勢54名の受講生と共に約2か月間、看護管理者としての知識や技術、態度について様々な視点から学ぶことができました。

ヒト・モノ・金・時間・情報を活用し、自施設又は自部署のマネジメントをいかに有効に行うか、見えていない問題を分析して整理を行い、問題解決のため看護管理者としての課題を明確にすることに取り組み、看護管理実践計画書にまとめました。今年度は診療報酬改定があり、これまでより一層、地域との連携強化が求められています。ヘルスケアシステム論では自分の働く地域の医療ニーズを知り、自施設の課題について考える機会となりました。実習では訪問看護ステーションで、実際に地域で生活する人々を支援する看護師の役割を学ぶことができました。医療機関で働いている私にとって、これまで正しいと思っていた考え方が、地域で暮らす人々を支援するためにはまだまだ不足していることを思い知ることができました。この学びを自施設に持ち帰り、スタッフに伝達することで、看看連携を強化するために地域で働く施設の方々との協力的体制や、医療機関側としてやるべきことを整理していきたいと思います。

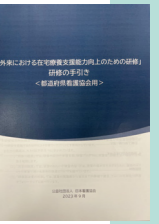
研修では様々な施設から、職位の違う看護管理者が参加しました。異なる施設・職位のクラスメイトとグループワークを行うことはとても刺激となり、自分の考え方や物事の捉え方を考える機会となりました。クラスメイトとのつながりは研修の大きな宝物で、今後も大切に日々精進していきたいと思っています。



報告 新企画『外来における在宅療養支援能力向上のための研修』(No.037)を行いました

令和6年8月20日(火)に開催し、49名の方が受講しました。

本研修は日本看護協作成のコンテンツを用いたeラーニングでの学習と兵庫県看護協会での演習で構成されています。外来看護を取り巻く現状や国の政策について理解したうえで、所属施設の医療機能や地域の実情などから、地域で切れ目のない在宅療養支援を行う上での、自施設が担うべき役割を理解すること、さらにそれらを踏まえて、在宅療養支援における自身の役割や課題に対する認識を深め、実践力の強化につながることを目標としています。



講義

講師 兵庫県保健医療部医務課 医療人材確保班(看護指導担当)主幹 福田 幸子氏

兵庫県医療計画の概要や医療機関・医療職の状況、外来看護機能強化の必要性などについて講義していただき、兵庫県における医療・看護を取り巻く状況を理解することができました。

グループディスカッション

事例検討では、3名の支援者にご協力いただき、事例に必要な在宅療養支援や在宅療養支援強化のための外来看護職・組織の取り組みなどについて、支援を受けながら学びを深めていきました。活発な意見交換が行われ、他施設の状況や取り組みなどを共有することで、自組織の課題への糸口につながっている状況もみられました。

演習全体を通して

演習を通してeラーニングの学びを深めることができたことや、グループワークでの意見交換から得られたことが多く、今後の課題への取り組みやモチベーションにつながっている様子が伺えました。受講生から外来に関する研修継続の要望が多数挙げられていました。今後、外来看護がますます重要視される中、在宅療養支援能力の向上が求められています。外来看護の質向上を図り、地域で切れ目のない在宅療養支援を行えるよう本会においても継続的に教育計画を立案していきたいと考えています。



Library News

ライブラリー
ニュース

利用者カードの
発行は無料です!



新着図書より管理者のみなさまにおすすめの2冊をご紹介します

分類記号	タイトル	著者	出版社	発行年
N230	調整する対話する・伝える技術	ナーシングビジネス編集室	メディカ出版	2024
N230	人を育てるモノ・情報・時間管理 組織をつくる	ナーシングビジネス編集室	メディカ出版	2024

利用の詳細・最新情報
雑誌や図書の紹介も
お読みいただけます



図書室をさらに活用してみませんか?

★「あの雑誌のあの号にこんな特集がのっていたはず…」そんな時は医中誌Webの書誌確認が便利です!

★図書・雑誌の「お譲り」

旧版の『系統看護学講座』や保存期間が経過した『看護管理』などを自由にお持ち帰りいただけます。持ち帰り用の袋をご準備の上お越しください。

ナースセンターだより

兵庫県ナースセンターサテライト丹波・サテライト淡路開設、サテライト北播移転しました!

経験豊かな相談員が求職者・求人施設のご相談を伺います。

<相談内容>

看護職の方 再就業・キャリアチェンジ・進学 など

求人施設の方 看護師等確保のご相談 など



サテライト北播 移転

相談開催日時/毎週 **水** 曜日(祝休日除く)
13:00~16:00

開催場所/播磨看護専門学校内
(加東市家原812番地1)

北播地域
といえば!



サテライト丹波 開設

相談開催日時/毎週 **火** 曜日(祝休日除く) 13:00~16:00

開催場所/丹波ゆめタウン2階丹波市市民プラザ内会議室
(丹波市水上町本郷300番地)

丹波地域
といえば!



サテライト淡路 開設

相談開催日時/毎週 **火** 曜日(祝休日除く) 13:00~16:00

開催場所/洲本市総合福祉会館(やまて会館)内会議室
(洲本市山手2丁目2番26号)

淡路地域
といえば!



上記3つのサテライトへの相談は、**原則予約制**です。

予約・お問い合わせは、兵庫県ナースセンター本所までお願いします。

兵庫県ナースセンター本所: ☎078-341-0240(平日9:00~17:00)

HP内に予約フォームもございます。



開催日詳細・予約など

受講料無料 令和6年度 第2回保健師バンク・IHEAT推進研修 開催のご案内

本会では、災害・感染症発生時などの「健康危機発生時」に、保健所での支援を行うための実践的研修会を、年2回実施しています。第1回は9月26日(木)徳島大学大学院医歯薬学研究所看護リカレント教育センター、特任教授山下留理子氏より、災害・感染症等の健康危機管理に関する研修会を開催しました。

第2回は、**12月12日(木) 13:30~16:00** / テーマ「健康危機発生時におこなう積極的疫学調査(仮)」の研修を開催いたします。保健師に限らず全ての看護職が対象です。ぜひご参加ください。

令和6年度「進学説明会(進路指導担当者説明会との合同開催)」 ~新しい情報をGet!! 見つけよう看護の道~

開催日/7月20日(土)1部12:30~13:30、2部13:30~16:30

参加者/102名(中学生10名、高校生40名、社会人8名、保護者38名、進路指導担当者6名)

本会では、「看護の心普及事業」として、看護師を目指す、中学生・高校生と、その保護者、社会人が職業選択とし進学に繋げることができること。そして、中学高等学校の進路指導者が、看護師を目指す生徒に、「看護師への道」への情報を提供し、指導できるように合同の説明会を2部制で実施しました。

参加者からは、「色々な学校の情報が聞けてよかった」「個別で話せてよかった」。保護者からは、「三者面談に大変役に立つ内容だったので助かります」「子どもが、こういう場を見つけるのは大変だと思う、もっと広報してほしい」などの声が寄せられました。今後も看護師確保に向けて、対象者のニーズを聞きながら取り組んでいきます。



(上)1部:看護系大学講師・看護専門学校講師・先輩看護師からの説明会 (下)2部:看護系大学・看護専門学校進学説明会

令和6年度 看護職復職支援研修(3日間コース)を開催しました

開催日/7月25日(木)~7月27日(土) 場所/兵庫県看護協会会館 参加者/28名

3日間集中して学ぶことができる復職研修を開催しました。未就業の看護職の皆様が再就職するにあたり、現場ですぐに活用できるような実践的な研修を実施しました。

「この研修で、臨床の現場をイメージすることができた」「受講者同士のコミュニケーションが深まった」との感想があり、仲間づくりの場にもなっていました。

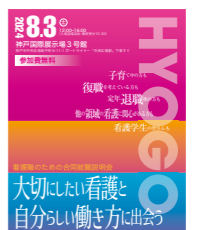
1週間後に開催した合同就職説明会にも誘い合わせて参加されていました。



今年は規模を拡大し、神戸国際展示場で看護職合同就職説明会を開催しました

開催日/8月3日(土) 場所/神戸国際展示場 参加施設/77施設 求職者/85名

対面での相談に加えて就職セミナーを実施しました。求職者のアンケートでは、「就職したい施設・検討したい施設があった」「多くの施設の話を通じて良かった」などの声があり、有意義な説明会となりました。また、40代~50代の方も多く、幅広い年代層に会場いただきました。プラチナナースの就職にも繋がっています。



訪問看護総合支援センター



ホームページ 公式LINE

報告 より良いケアと安全な訪問を目指して!! 県や関係団体と調査結果を共有

訪問看護師が利用者やその家族から受ける暴力・ハラスメントに関する調査

調査対象／県内の訪問看護事業所に勤務する看護職、令和5年1月から12月の訪問

回答期間／令和6年1月10日から1月31日 回答数／251

ハラスメント:身体的暴力、看護職の尊厳や価値を傷つけるような言葉や不当なクレームなども含む

結果

利用者やその家族からハラスメントを受けたことがある	53%
管理者や上司に報告した	68%*
ハラスメントを受ける前に事業所で対策があった	66%
ハラスメント対策のために2人訪問の体制整備が必要	67%

*管理者が回答者の場合は除く

訪問看護には、複数名で訪問する際の報酬があり、兵庫県(32市町)では2人訪問に対する補助があります。必要な時はご活用ください。補助対象が拡充されるように、本会では県への要望を続けていきます。

なお、令和7年3月8日(土)に研修会(事例検討)をおこなう予定です。



兵庫県HP

事業部

報告 臨場感あふれる《災害対応研修(受援体制)》

“備えあれば憂いなし”

災害健康危機対策委員会では、320床の病院にて深夜帯に風水害と地震が起こったと想定し、受援体制の構築に関するシミュレーション研修を行いました。災害対応の基本であるCSCATTT®に基づき、病院の災害対策本部と病棟が情報を交換し、クロノロジー(活動内容を時系列に記録・整理した情報)を用いて状況の整理と対策方針を協議していきました。また、停電を想定し会場の照明を落とした中でビブスを着用し、次々と災害対策本部・病棟に状況が提示される臨場感のある演習となりました。参加者からは、自施設での研修や訓練に活かしたいという声がありました。

災害によるインフラ破壊、医療資源の枯渇、医療人員不足などは、兵庫県内のどの施設でも想定されます。発災時には自施設で提供できる医療と、入院患者や傷病者の状況を把握し、2次被害を防ぐために、有事に備えて災害対応訓練を繰り返し行うことが重要です。

※CSCATTT/Command and Control 指揮と連携 /Safety 安全確保 /Communication 情報収集伝達 /Assessment 評価 /Triage トリアージ /Transport 搬送 /Treatment/ 治療



令和7年度兵庫県看護協会改選役員、推薦委員及び選挙管理委員の選挙の公示

令和7年6月19日(木)に神戸市中央区で開催する定時総会において、令和7年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員の選挙を実施しますので、公示します。

令和6年10月15日
選挙管理委員会

改選となる役員の職名及び人数 推薦委員・選挙管理委員の人数	役員<任期:2年>	会長	1名
		副会長	1名
		常務理事	1名
		保健師職能理事	1名
		看護師職能II理事	1名
		神戸東部地区理事	1名
		北播地区理事	1名
		西播地区理事	1名
		但馬地区理事	1名
		准看護師理事	1名
監事	1名		
	推薦委員<任期:1年>	推薦委員(各支部より1名)	9名
	選挙管理委員<任期:1年>	選挙管理委員(各支部より1名)	9名
立候補の届け出	役員、推薦委員及び選挙管理委員に立候補する方は、正会員5人以上の推薦を受けて届けて下さい。		
届け出の方法	立候補届出用紙に記入の上、下記宛先へ郵送して下さい。 ※立候補届出用紙は、本会総務係へ請求して下さい。		
宛先・お問い合わせ先	〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通5-6-24 公益社団法人兵庫県看護協会 選挙管理委員会		
締切日	令和7年4月19日(土)必着		

推薦委員会からのお知らせ

令和7年度改選役員及び推薦委員、選挙管理委員の候補者について、次の事項に該当する方を所属支部の地区理事までご推薦下さい。なお、候補者は支部で1名選出し、推薦委員長に推薦します。

改選役員・推薦委員・選挙管理委員の選出人数	選挙の公示のとおり
推薦基準	①兵庫県看護協会の目的達成のための活動に積極的に取り組み、任務を遂行できる人 ②本会の定めた会議に出席できる人
推薦方法	所定の推薦書様式に必要事項を記入の上、所属の地区理事(支部長)へ提出して下さい。 ※推薦書は、各支部または本会総務係へお問い合わせ下さい。
宛先・お問い合わせ先	〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通5-6-24 公益社団法人兵庫県看護協会 推薦委員会
推薦締切期日	令和6年12月31日(火)必着

令和7年度兵庫県看護協会代議員・予備代議員選挙の公示

公益社団法人兵庫県看護協会定款第13条第4項、定款細則第17条第5項に基づき、令和7年度兵庫県看護協会代議員及び予備代議員(以下「本会代議員等」という。)の選挙について下記により公示します。

① 支部別本会代議員等の定数207名

(単位:名)

支部	代議員	予備代議員
阪神南	34	34
阪神北	22	22
神戸東部	26	26
神戸中部	21	21
神戸西部	19	19
東播	31	31
北播	14	14
西播	32	32
但馬	8	8
計	207	207

② 本会代議員等選出のスケジュール

立候補の届出期間／令和6年11月30日(土)まで(必着)
候補者名簿の公示／「看護ひょうご」新春号(令和7年1月発行予定)に掲載
選出期日／令和7年2月1日～28日の間に行われる 兵庫県看護協会各支部委員会において選出代議員名簿の発表／「看護ひょうご」春号(令和7年4月発行予定)に掲載

③ 本会代議員等に立候補する方の届け出の方法

立候補する方は、支部内の正会員5人以上の推薦を受け、立候補届出用紙にご記入の上、選挙管理委員会に郵送にて提出してください。なお、選挙管理委員会以外への提出や記載不備は無効となりますのでご注意ください。

提出先・お問い合わせ先:〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通5-6-24
公益社団法人兵庫県看護協会 選挙管理委員会

④ その他

・代議員は6月に開催される定時総会に出席し、議決・投票を行うことを任務とします。
・令和7年度兵庫県看護協会代議員の任期は、令和7年4月1日から1年間となります。

2025年度の「継続のお知らせ」は着圧ハガキで届きます！

看護協会の入会は自動継続です

今年度(2024年度)の会員は次年度(2025年度)自動継続されます。
ハガキが11月に日本看護協会からご登録の施設(個人会員はご自宅)に順次届きますので必ずご確認ください。

- [ハガキ変更点]
- 現在の登録内容(個人情報)は印字されません。
 - 会員情報変更届は添付されません。



登録会員情報の確認・変更はキャリアナースからの手続きをお願いします。

口座振替について

2025年度(令和7年度)の会費の引落しは**2月27日(木)**です。

登録口座に資金をご用意ください。研修費等を会員価格で受講していただくためにも、会費の前納にご協力をお願いいたします。
資金不足等で引落しできなかった場合は、ご自宅に届くコンビニ収納票でお支払いください。

施設とりまとめご担当者様へ

勤務先で取りまとめて納入の場合は2025年2月末日を目安に会費を専用口座にお振込みください。
※施設用WEBで納入対象者を特定し、表示された人数分の会費額合計をお振込みください。
※翌営業日に施設用WEBで納入済みとなることをご確認ください。

退会について

次年度の継続を希望しない方は、2025年1月末日までに、退会届を送付してください。
退会届ダウンロード方法: 本会ホームページ>入会のご案内>手続き・会費案内ページより

「退会届」の送付先
〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-6-24 兵庫県看護協会 総務部 会員担当宛 / FAX 078-361-6652

会員特典

01 看護職賠償責任保険制度

就業中のケガ・特定感染症・
ハラスメントを受けた場合の
弁護士費用等も補償対象になりました。

02 福利厚生

- ✓ アフラック(保険)団体割引
- ✓ アロマテラピースクールのご案内
- ✓ 三井住友カード初年度年会費無料
- ✓ 兵庫県芸術文化協会が提携されている施設の優待が受けられます。

03 広報誌



日本看護協会機関紙「協会ニュース」と
兵庫県看護協会の
広報誌が届きます!

04 看護なんでも相談



仕事の悩みや不安などの
相談ができます。

05 図書室利用



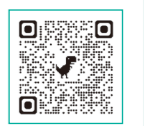
- 専任の司書がいます
- 所蔵図書は6,000冊、定期購読雑誌は約40誌です。
- 文献検索はもちろん、
図書の貸出を行っています。

会員特典の詳細は、
兵庫県看護協会HPの
右記ページをご覧ください。

会員向けページを
チェック

協会会員の方へ

会員向け限定情報



日本看護協会 会員手帳2025が発行されます。

申込・詳細は右記QRコードまたは
兵庫県看護協会HP ▶ お知らせ ▶
他団体等 ▶ 2024年08月26日
をご覧ください。

